

子どものための国際 NGO セーブ・ザ・チルドレン
DeNA グループからのミャンマー母子保健支援が決定
横浜 DeNA ベイスターズ選手のホームランで「明かり」の寄贈

子ども支援専門の国際組織である公益社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン(理事長:上野昌也/専務理事・事務局長:千賀邦夫、東京都千代田区、以下 SCJ)は、株式会社ディー・エヌ・エー(以下 DeNA)と株式会社横浜 DeNA ベイスターズ(以下横浜 DeNA ベイスターズ)より、ミャンマーでの母子保健事業にご支援をいただくことになりました。

SCJ は、1999 年より、ミャンマーの農山村で母子の健康を守るための支援や武力紛争の影響が残る地域で子どもの保護事業を進めています。世界では現在も、年間 100 万人の新生児が生まれた日に命を落としています。ミャンマーは、アジアの中でも新生児死亡率が高く、14,591 人の赤ちゃんが、出産時もしくは出産後 24 時間以内に亡くなりました^{*}。特に、無電化地域では照明設備がないことが、赤ちゃんにとっても妊婦にとっても、リスクの高い出産につながっています。

今回の取り組み「命を救うホームラン」は、DeNA グループのスポーツを通じた社会貢献活動「DeNA Sekai Egao Project」の一環として実施されます。横浜 DeNA ベイスターズの選手が今シーズン中公式戦でホームランを打つごとに、DeNA から太陽光で充電・点灯するソーラーランタンが寄贈され、SCJ がミャンマーの無電化地域で働く助産師に届けるというものです。

【DeNA グループによる SCJ への支援内容】

支援実施国:ミャンマー(バゴ、ヤンゴン、マグウェイ地域)

支援内容:SCJの母子保健事業で育成した助産師に対し、今シーズン中に横浜 DeNA ベイスターズの選手が打ったホームラン数に応じて、DeNA からソーラーランタンの寄贈

支援期間:2014年3月18日~2015年3月31日



ヤンゴン地域テゴンの母子保健事業
 ©Sai Thiha Soe/Save the Children Japan

DeNA の概要

株式会社ディー・エヌ・エー

代表取締役兼 CEO: 守安 功

設立:1999年3月4日

所在地:東京都渋谷区渋谷 2-21-1 渋谷ヒカリエ

DeNA 横浜ベイスターズ概要

株式会社横浜 DeNA ベイスターズ

代表取締役社長:池田 純

設立:1949年11月22日

所在地:横浜市中区尾上町 1-8 関内新井ビル 7 階

※セーブ・ザ・チルドレン報告書「新生児の死亡に終止符を(Ending Newborn Deaths)」 2014

本件に対するお問い合わせ

公益社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン 広報 担当 田代

TEL: 03-6859-0011 FAX: 03-6859-0069 E-mail: tashiro.noriko@savechildren.or.jp